

“コノホシ”栽培情報

いよいよ水稻の栽培が始まります。気象変動に負けないよう健全な苗作りを行いましょ。

1. 育苗時の注意点

緑化期：早朝にかん水しましょう（葉先に水玉がついていない場合）
硬化期：晴れた日の朝にかん水しましょう（夕方に土が乾く程度） 『注意』夕方のかん水は、苗が徒長し、根張りも悪くなります。
硬化期以降：過乾燥に注意（葉が巻きだしたら必ずかん水）してかん水しましょう。但し夕方3時以降のかん水は避けましょう。



2. 肥料・農薬

●育苗箱施用剤



ルーチンエキスパート箱粒剤
50g/1箱

●水稻除草剤



エンペラー豆つぶ 250 等
栽培こよみ参照

●水稻一発肥料



ハイセラコート R500
35kg/10a

※箱施用剤は、粒剤を育苗箱に均一に散布することで、出穂前までの病害虫防除効果が期待出来ます。

（JA購入苗は播種同時施用を行なっていますので、散布しないで下さい）

※除草剤の効果を高めるには、水深 3~5cmで散布し、散布後 3~4 日は確実に水を保つことが重要です。（散布後1週間は止水管理）、土が水面から出ないように、代かきは均平にしましょう。

3. 田植え時期

田植え時期：6月5日までに植えて下さい。

6月中旬以降の田植えは、茎数が確保できないため収量減になります。

4. 栽植密度

株数・本数：1坪 50~60 株（1株 2~4 本植え）

5. 田植え後の管理

田植え後~苗の活着まで灌水管理（5cm程度）をします。

（活着の目安は、田植え後約1週間で新葉が出る）

活着後から田植約30日後までは間断灌水を行いましょ。

（入水し、自然に落ちるのを待ち再び入水といった管理を行いましょ）

土中にガスが湧いて生育が悪いときは、落水して土を露出させ3日間程度ガスを抜きましょ。

スクミリンゴガイが発生する恐れのあるほ場については、別途相談してください。



問い合わせ先 加西営農生活センター Tel. 0790-47-1286
 小野営農生活センター Tel. 0794-63-6905
 三木営農生活センター Tel. 0794-82-6150

《令和8年度 第1号》

「水稻は地力でとり、小麦は肥料でとる」と言われるように、水稻栽培においては土づくりが大切です。

土づくりの三本柱

- ① 深耕(水稻は作土 15~18cm 確保)
 - ・作土を深くして、根の張りを深くまで広げましょ！
- ② 堆肥など有機質資材の適量施用
 - ・完熟堆肥(未熟な堆肥は危険)、稲わらなどの有機質資材を有効に活用して、地力の維持・増強に努めましょ。十分に腐熟した牛ふん堆肥 2t/10a を冬期にすき込みましょ。
- ③ 土づくり肥料の適量施用
 - ・良質な堆肥が投入できない場合は、**土力の達人**や**アヅミン**などの土づくり肥料を施用し、ケイ酸や腐植酸など不足しがちな養分を積極的に補給ましょ。



土力の達人
80kg/10a

アヅミン
40kg/10a

栽培豆知識①

- 茎数を確保し**収量アップを目指ましょ！
- ・苗を作る際は、1箱当たり乾籾で 130g~140g 播種ましょ。
 - ・**6/5 までに**田植えをし、分けつ期間を確保ましょ。
 - ・中干し開始は1株当たり **18~20 本(目標茎数 25 本のおおむね 8 割)**で開始ましょ。
 - ・田植えが遅れる場合は、**植え付け株数を増やましょ。**

栽培豆知識②

- 茎数を確保**する為に、ガス湧きによる初期生育不良に気をつけましょ！
- ・田植え直前の**雑草すき込み**は、分解によって**ガス湧きが発生**し、根を傷め十分な分けつが確保できず**減収に繋がってましょ**ので、少なくとも**田植え 2 週間前までにはすき込んでおいて下さい。**
 - ・**間断灌水**を行うことで根の傷みを防ぎ、伸長を促ましょ。水分と酸素の供給を交互に行うことで、根をしっかりと育てましょ。

不稔被害を発生させるイネカメムシにご注意ください！

イネカメムシは畦畔の雑草よりも稲を好んで加害するため、特に出穂が早い早生品種は集中加害を受ける可能性が極めて高いです。

不稔被害を防ぐためには、従来の斑点米カメムシ類の防除に加えて出穂期の防除を徹底し、穂ばらみ期(出穂始め)、出穂7日後の**2回防除を徹底してください。**

穂ばらみ期から乳熟期にかけて粒剤を施用する場合は、防除効果が得られるまでに日数がかかるので早めに散布を行ってください。

散布時期・施用方法につきましては、お近くの営農センターまでご相談ください。



スタークル豆つぶ



スタークル粒剤



フジワンラップ粒剤



スタークル液剤 10